

その他

最後に このたびのアンケート調査に対するご感想、または三重県政に対するご意見などございましたら、ご自由にお書き下さい。今後の参考にさせていただきます。

【自由意見】

今回の調査では、計 1,287 人の方から延べ 1,491 件の自由意見が寄せられました。調査に関するご意見と調査以外のことに関するご意見の 2 つに整理しました。

(1) みえ県民意識調査に関するご意見 (170 件)

今後できるだけ多くの方にご回答いただけるよう、ご意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。

目的や活用方法に関すること

- ・ 調査にも税金が使われていることを認識してほしい。
- ・ 単なる調査に終わらないことを願う。結果をもとに、県民がより幸せを実感できるような、長期、短期の具体的施策を期待する。

実施方法に関すること

- ・ 粗品があれば嬉しい。
- ・ アンケート用紙を返送する時に、三つ折をしないといけないが、折りにくい。

調査票の構成に関すること

- ・ 設問が抽象的な感じがする。もう少し具体的な設問があってもいいのではないか。
- ・ 質問の数が多い。
- ・ 割合答えやすいアンケートであった。

対象者の抽出方法に関すること

- ・ 高齢者ではなく、若い人を対象に調査した方がよい。
- ・ 改めて考え直す、よい機会がもてた。

集計結果の公表に関すること

- ・ 結果が楽しみである。
- ・ 結果を公開してほしい。

(2) 調査以外のことに関するご意見 (1,321 件)

さまざまな分野に関するご意見もたくさんいただきました。

ご意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民カビジョン」における 16 の政策別およびその他に分類した内訳は次の通りです。

「みえ県民カビジョン」

01. 危機管理	58 件
02. 命を守る	77 件
03. 暮らしを守る	24 件
04. 共生の福祉社会	76 件
05. 環境を守る持続可能な社会	25 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	12 件
07. 教育の充実	70 件
08. 子どもの育ちと子育て	73 件
09. スポーツの推進	10 件
10. 地域との連携	33 件
11. 文化と学び	15 件
12. 農林水産業	19 件
13. 強じんて多様な産業	25 件
14. 雇用の確保	110 件
15. 世界に開かれた三重	68 件
16. 安心と活力を生み出す基盤	131 件

その他

01. 行政全般・その他について	410 件
02. 知事に対して	72 件
03. 幸福感について	13 件

(参考) 世帯構成の考え方

今回の調査では、前回お聴きした世帯構成に代えて同居の家族（問8 - 3）について質問していますが、前回との比較を行うため、同居の家族の回答の組み合わせにより、世帯構成を判断しています。

（例）

回答例（同居の家族）	世帯構成
配偶者	一世代世帯
配偶者、親	二世代世帯
配偶者、子ども（既婚）、孫	三世代世帯
孫	その他世帯
親、その他	その他世帯

回答に「その他」が含まれている場合には、「その他世帯」とみなしました。

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数（N）、および回答率（P）によって決定されます。

$\text{標本誤差} \quad E = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100 - P)}{N}}$	E：標本誤差 N：回答数（人） P：回答率（%）
---	--------------------------------

次表は、上式にNとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,432	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は3%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が50%の場合、信頼度95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まること）では、1,111件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±2%では2,500件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,432件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

$$\text{サンプル数 } N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P) \quad (1) \quad 1$$

N：サンプル数 P：回答率（%） E：標本誤差 k：信頼度係数 2

1：一般に人口1万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（1）を使用した。

2：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度95%の場合は1.96であるであるが、近似値として2を用いている。

サンプル数決定の早見表(信頼度95%)

標本誤差 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400